

広報政策室

広報渉外委員会

委員長／池野 裕二郎 副委員長／鎌鹿 玄介 委員会幹事／岡本 壮一郎
委員／五十嵐 健太 伊藤 誠 加藤 尚孝 菅原 さつき 祖濱 彰太 辰己
博康 中濱 昭二 二本柳 匡沙子 福島 和弘 堀 哲也 宮田 和希

1 私たちは、日本青年会議所・地区協議会・各地青年会議所から得た幅広い情報や我々が
2 行った活動を広く発信することで、函館青年会議所の運動を理解してもらい、地域とのネ
3 ットワークの強固にし、繋がりを持った我々が積極的に活動を展開していく事で、地域の
4 強化へと導き、我々と地域住民が協働していけるような函館を目指し活動して参りました。

5 2015年のスタートとなる新年交礼会では、65年の感謝を伝えるべく、ご来賓・O
6 Bの諸先輩方を迎え、本年度の新体制を披露し、前年度の活動報告と本年度の運動指針を
7 伝え理解・賛同して頂くと共に、メンバーに本年度の活動への明確な活動意識を持っても
8 らうことで、LOMとしての意識統一を図ることができました。

9 5月例会「出向の可能性とLOMの成長」では、委員会プレゼンにて、青年会議所の組
10 織と函館青年会議所の出向の歴史を伝え、青年会議所が大きい組織であることと出向する
11 ことで自らを成長させ、どのように地域発展に貢献してきたかを理解していただき、出向
12 する意識を高めていただきました。また、講師として公益社団法人日本青年会議所歴代会
13 頭であられる相澤弥一郎氏をお招きし、講演の中で、出向することで人との繋がりができ、
14 自身を成長できることを理解することで、メンバーに出向に対して前向きな考えを持って
15 いただき、函館青年会議所が伝統あるLOMであることを再認識し、LOMへの誇りを持
16 ってもらうことができました。

17 9月例会「北海道地区大会函館大会、伝達の地へ」では、遠く網走の地まで多くのメン
18 ーに参加していただくことができ、函館大会を主管するという意識と、LOMとしての
19 団結力を高めるべく、鍵の伝達式や次年度開催地PRなど網走大会のすべてを体感し、自
20 分たちが主管LOMとしてやるべきことや函館大会に挑む意識を高めていただくことが
21 でき、LOMとしての団結力が高まったと考えます。また、日本青年会議所・地区協議会の
22 活動に積極的に参加し、多くの地区出向者の活躍している姿をメンバーに発信することが
23 でき、他のメンバーに自らが積極的に活動する意識の向上に繋がったと思います。

24 HPの運営では、新たに最新活動報告と今後の予定を設け、内容を発信することで函館
25 青年会議所の活動を多くの方に発信でき、HPとフェイスブックの連動をすることで昨年
26 より観覧数が伸び、結果としては多くの人に発信をできたと思います。しかし、更新の頻
27 度を維持できなかつた点は反省するべき所であります。

28 一年間を通じて、反省する点も多々ありましたが、出向する必要性や地区大会を主管す
29 る意識を高めていただいたことでメンバーの青年会議所活動への意識向上を行うことが
30 き、また我々の地域発展の為の活動をメンバーや地域・他団体に広く発信し、理解・賛同
31 へ繋げることで、地域や支えとなっている皆様とのネットワークを強固なものとし、情報
32 を得て成長した我々が地域を巻き込んだ活動を行っていくことで、LOMと地域が協働し
33 て地域発展を行うことに繋げる事ができたと確信しております。